

## 大保木地区タウンミーティング開催報告

日 時	令和2年10月5日（月）13：30～15：00	
場 所	石鎚ふれあいの里 研修室	
参加者	【地域側：12団体、14名】大保木地区連合自治会長、兎之山自治会長、中奥自治会長、西之川自治会長、浦山自治会長、大保木消防分団長、石鎚ふれあいの里、西条自然学校理事長、地域代表（林業）、地区内後継者代表、いしづち森林組合、公民館利用者代表 【行政側：4名】市長、大保木公民館長、政策企画課長、公共施設マネジメント推進係長	
次 第	1.開会 2.大保木地区連合自治会長 挨拶 3.市長挨拶・総合計画のポイントと事業説明（別添資料①） 4.テーマ「公共施設のあり方」に関する現状等説明（別添資料②）・意見交換 5.まとめ・閉会	
概 要		
自治会長挨拶	西条市では合併後、多くの施設が老朽化し、維持管理が難しくなっている。本日は、忌憚のない意見をいただきながら、みんなで問題を共有し、持続可能な西条市を考えるタウンミーティングとしたい。	
市長事業説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西条市は今後30年間で約3万人の人口減少が予測されている。 （約108,000人：2015年実績 → 約78,000人：2045年時点の人口推計値）</li> <li>・上記3万人の内、多くが15歳～64歳→働く世代がいなくなることで、地域や産業の課題増が予想される。</li> <li>・「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題とした総合計画後期基本計画を策定。2045年時点の人口推計値 約85,000人を目指す！</li> <li>・優先目標を3つ設定。A)健康寿命の延伸、B)働きがいの創出・経済活力の維持、C)経営感覚のある行財政運営の実践。</li> <li>・市民・事業者の皆さん、行政がともに力を合わせて、将来世代にバトンタッチできる「持続可能な西条市」を実現しよう。</li> </ul>	
テーマに関する現状等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西条市の公共施設は、同規模自治体の1.6倍(延床面積)あり、その半分以上が老朽化(築30年超)している。</li> <li>・公共施設マネジメントとは、施設の安全管理と財源確保を両立するための適正配置を実現することである。</li> <li>・人口減少・少子高齢化を踏まえ、今後の行政サービスにおいて、削減余地があるのは公共施設のみである。</li> <li>・建物は縮減しても機能やサービスの向上を図る「縮充」の発想で施設のあり方を見直すことが大切である。</li> <li>・市民のみなさんと情報を共有し、思いを共感し、新しい公共施設のかたちを考える共創を目指していきたい。</li> </ul>	
参加者の発言要旨		市の発言及び対応
<p>&lt;施設の複合化について&gt;</p> <p>施設を修繕しつつ使うことは合理的な考えだと思うし、小学校と他の施設を複合化するアイデアもすごく良い。</p> <p>このような施設を次世代に残すことができれば、希望を託すことができる。</p>		<p>今年度、各公共施設の建物の状態や利用状況等のデータによる分析を進めており、その結果をもとに施設の統合などを検討していく。</p> <p>しかし、ご指摘のとおり地域によって事情が異なるため、数字だけで機械的な判断はできないと思っている。</p> <p>皆さんの思いが詰まった施設であることを念頭に置き、データを開示しつつ、丁寧に説明をしながら一緒に考えていきたい。</p>
<p>&lt;へき地の公共施設について&gt;</p> <p>機能が重複する施設を同じ状態で維持管理するのは非効率である。利用頻度が低い施設を廃止・統合していくことは当然だ。</p> <p>ただ、大保木や加茂・桜樹地区など山間部へき地の施設については、利用率が低いから縮小という考え方では困る。効率化とは別の観点でへき地の特殊性を考慮し、施設を維持してほしい。</p>		
<p>&lt;学校施設の複合化について&gt;</p> <p>他市のことだが、近距離内に小学校が2校建設されたことを不思議に感じていたが、将来的に高齢者が多くなるから、老人施設に変更になるという話を聞いた。そんな方向で考えるのも良いと思う。</p>		<p>空き教室が増えたら別の施設として活用するといったような話も聞いたことがあるが、最近では空き教室を活用して障がいのある子どものための特別支援学級を充実させるといった動きもある。</p> <p>子どものことを最優先にしつつ、他の機能との複合化も考えていきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言及び対応
<p>&lt;統廃合、集約による移動手段について&gt; 人口減少の観点からすると、小学校の統廃合も仕方ない。ただ、遠隔地からの通学にはスクールバスなどが必要だと思う。 予算がないから切り捨てるのではなく、その都度説明していただき、住民が納得できる形で取り組んでほしい。</p>	<p>校区内通学において遠方からバスを使用する場合にはバス代の補助をしているが、路線が廃止になった時どうするかという問題はあある。 公共交通の観点からすると、デマンドタクシーも選択肢として考える必要がある。移動手段・距離が延びることなどしっかり話し合い、民間事業者のノウハウもいただきながら、どのようなやり方ができるか考えなくてはならない。</p>
<p>市全体の経費節減のために公共施設を減らしていくことは必要だが、そのことにより各施設までの移動距離が長くなると、個人の負担増になる。 この点について市として、どうするか考えてほしい。</p>	<p>確かに、施設の集約により移動手段の問題が発生すると予想される。 車で行くような「全市的な施設」と自転車や徒歩で行けるような地区内にある「身近な施設」を切り分けて考えていく。各地区には、高齢者が車に乗らなくても通え、みんなが使い、交流できるような（公民館のような）施設が必要だと考えている。</p>
<p>&lt;路線バスについて&gt; 9月末で路線バス加茂線が廃止になったと聞いた。大保木にはロープウェイや大宮橋があるのでバスを利用する人もいると思うが、今後、加茂に続いて西之川・大保木線もなくすことはないようにしてほしい。高齢の方が多いので減便(現在は3~4便)もないようにお願いします。</p>	<p>現在、路線バスが西之川まで上がっているが、この路線を守っていききたい。 観光という視点も含め、利用者を増やすこと、維持することが何より大切である。そのサポートとしてデマンドタクシーがあろうかと思う。「みんながこの公共交通守ろうや」という思いを持って、利用し、育てて行って欲しい。</p>
<p>&lt;施設削減による地域経済への影響について&gt; 人口減少により施設の利用状況が変化の中で、統合や集約は必要だが、これに伴い、公共投資(雇用・施設の維持管理費)が減少し、地域経済が弱まるのではないかと。 このままでは、税収も減り悪循環に陥る。市の財源は確保する方向でやっていただきたい。</p>	<p>非常に大切な視点である。県や国に働きかけ、しっかりお金を取ってくるのが私達の大きな役割だと考えており、この重要性を日頃から職員にも説いている。ふるさと納税が過去最高の7億円になるといった成果も出ている。 緊縮するという観点だけでなく財源の確保に努め、必要な事業を進めていく。</p>
<p>&lt;雇用維持について&gt; 公共施設が減ったからといって職員まで減らさないようにするべき。市の職員の地域経済への貢献は大きい。 日本中で人口減少が進む中、移住施策も重要だが、西条で育った子が大学卒業後に西条に戻って働きたいと思えるような取り組みを進めてほしい。</p>	<p>市の職員には励みになるお話である。地方公務員も雇用のひとつであり、それぞれ地域のためにしっかりと貢献して欲しい。 地域全体で雇用が生まれるものとしては、南予地区の「みかんアルバイト」の事例がある。繁忙期にみかんの収穫選別作業を任せるアルバイトを募集し、全国から応募があるようだ。 大保木地区で言うならば、林業を営みつつ他の仕事も持ち、収入を確保できるやり方など、多様性のある働き方があってもいいと思う。</p>
<p>&lt;地域での仕事創出について&gt; 『特定地域づくり事業協同組合制度(※)』という制度を活用して、大保木地区全体で人を雇用するような仕組みを考えていきたいので、市も含めて一緒に勉強したい。  ※(総務省HPより) 地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出したり、組合で職員を雇用し事業者に派遣し、地域の担い手を確保する仕組み。</p>	<p>また、市外に出た子ども達に将来戻ってもらうためには、ここで育ったことの誇りや愛着を持てるような教育をしていかなければならない。そのためには、大保木地区の魅力をしっかり守り、磨き上げることが大切だと思う。</p>
<p>&lt;施設の統廃合について&gt; インフラ整備を維持する必要がある中でハコモノに焦点が当たってくるが、西条市はスポーツ施設が多い印象があるので、統合を考えても良い。 温泉施設や観光施設は行政ではなく、民間が運営することを考えてはどうか。 社会教育施設・博物館・資料館は、収蔵と展示の役目があると思うが、収蔵は小学校の空き教室、展示は図書館の展示スペースを活用することを提案する。</p>	<p>鋭い視点でのご指摘をいただいた。 市内に6つある体育館(総合・ひうち・西部・東予・丹原・小松)の内、同時期に建設された5つは、近い将来、建て替え時期が一斉に到来することが課題である。 博物館・資料館については、収蔵と展示を行う小規模施設が複数存在する状況であり、収蔵と展示を切り離れたあり方も考えられる。 温浴施設は、観光施設も含めて民間に任せ、その民間企業を支援するというやり方があってもいいかと思う。</p>

参加者の発言要旨	市の発言及び対応
<p>&lt;施設使用料について&gt; ふれあいの里もそうだが、観光やスポーツ系の施設を西条市外の人が多く利用している。 西条市が投じた税金で運営しているのだから、質の良い安いサービスを市外の人に多く提供している状況は改善した方が良く感じる。</p>	<p>東予運動公園プールの例では、令和元年度はスライダーの使用中止に伴い、無料開放した。 利用結果を見てみると、西条市民が55%、市外利用者が45%であった。これを良しとするか、改善していくべきと考えるかだと思う。</p>
<p>&lt;ごみの不法投棄について&gt; 県道12号線沿いの不法投棄物が多く困っている。場所が危険な上に、冷蔵庫や大型機器など量が多くて回収できない状況である。 今後ごみ袋が有料になれば、不法投棄がますます増える心配があり、監視を厳しくするなど対策を検討してほしい。</p>	<p>ごみの問題は、一人ひとりの心がけが大切であり啓発を続けているが、悲しいことに不法投棄の問題が発生している以上、監視・管理が必要なのだろうと思っている。方法を考えていく。</p>
<p>&lt;地域の存続について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃校になった浦山小学校や現在使われていない場所を今後どう活用していくか。</li> <li>・ 将来世代に山暮らしや多様な生き方を提供できるよう、新しい仲間を受け入れられる場所であってほしい。</li> <li>・ 古い建物を廃止するとなると、築50～70年経過する建物がある中奥地区は、ますます過疎化が進むため、公民館、診療所、消防団のポンプ小屋を複合化し建て替えてもらいたい。</li> <li>・ 高齢化が進む中、地域を維持していくためにはインフラ整備が必要不可欠だと思う。</li> <li>・ 加茂・大保木地区には小学校がなく、将来的に地域が消えてしまうのではないかと心配している。</li> </ul>	<p>皆さんの想いはしっかりと受け止めさせていただく。 前回の大保木地区タウンミーティングで出たご意見に対しても、どうしたらできるかということを考えていく姿勢でお返しさせていただいている。全てが100点とはいかないが、今後の方針も含めてお伝えさせていただきたい。 また、森が栄えなければ、まちの繁栄はないと思っているので、森林環境整備に力を入れていこうと考えている。涵養や自然環境等の問題があるが、皆さんのアイデアをいただきながら対応していきたい。</p>
<p>&lt;校区制について&gt; 地区内に学校がないのに、いつの頃からか、この地区は神戸小学校に通いなさいと決められている。実際には氷見へ行く方が近く、生活圏も氷見であるため、校区設定を変更できないか。</p>	
<p>&lt;市道、公園の管理について&gt; 黒瀬ダム管理事務所から柳谷橋の間の市道で倒木する恐れのある木が多いので、撤去してほしい。 2号公園はたまに行くが、植木・樹木の剪定をしてないのでよくしてもらいたい。銅像があるが、もし倒木すると当たって壊れる恐れがあるので、何か保護をしてほしい。 上の原から大檜に上がる沿線で、落ち葉で水路が詰まって、道路を隔てて県道へ流出している。清掃をお願いしたい。</p>	<p>【後日対応：10月中旬】 黒瀬ダム2号公園について、銅像付近の支障樹木を撤去した。他の植木・樹木の剪定については、利用上支障があるものから優先的に実施したい。 また、上の原から大檜に上がる市道の側溝清掃は3月中旬までに対応予定である。 なお、日々、道路パトロールを行う中で市道における倒木の撤去や側溝の清掃を行っているが、地域の皆さんのほうが早くに気づくことが多いと思うので、通行等に支障が出るような場合は、ご連絡いただきたい。</p>
<p>&lt;消防団大保木分団について&gt; 9月上旬の台風10号により、大檜蔵置所が倒壊した。今後の台風の状況によっては、蔵置所両サイドの倉庫も全滅の恐れがあるため、当該蔵置所は撤去し、ポンプ自体は本部の方にいったん引き取ってもらいたい。また、上の原蔵置所も壊れて窓も閉まらない状態であり、同様に撤去を検討してほしい。 団員数も減少しており、大保木在住の数名以外は町から上がって来ている状態。大保木分団は氷見と統合することになるかと思う。ポンプが千野々蔵置所にあっても、1度はここに上がって来なければならない。現在大保木にいる方だけでは機器の起動も難しいので、考えてほしい。</p>	<p>消防団の存続については、今回、丹原地区において、桜樹分団と中川分団が統合することになったが、これが1つのモデルになると思う。 市民の皆さんの生命、財産を守ることと、例えば大保木分団の知恵をいただきながら、神戸分団や氷見分団等の近隣分団に協力いただくことも必要かと思っている。消防本部にも相談しながら議論を進めてほしい。 【後日対応：11月下旬】 地元自治会、大保木分団及び消防本部で協議を行い、大檜蔵置所の撤去を行った。 上の原蔵置所の撤去要望については、現在、協議を進めている。</p>

参加者の発言要旨	市の発言及び対応
<p>&lt;山間部の選挙について&gt;            高齢者が多く、投票所（公民館）に行くのが大変だ。            有権者数も少ないので、期日前投票とか、投票所までの移動手段を確保する方法等を考えていただきたい。</p>	<p>投票所数が減り、以前は地区の集会所でできていたが、今は公民館まで行かねばならなくなった。            様々な投票の方法があって良いと思うが、そこにはルールがある。例えばスーパーや病院での投票という方法もあるようなので、どのような条件で可能になるのか、研究し、お答えさせていただきたい。</p>
<p>&lt;高齢者インフルエンザ予防接種について&gt;            10月1日から予防接種ができると聞いたが、まだ接種券が家に届いていない。            また、新居浜市は無料となっているが、西条市の料金はどうか。</p>	<p>料金については様々な視点で検討したが、高齢者の方には1,000円の負担をお願いしたい。（一般は約4,000円）  <b>【後日回答：10月上旬】</b>            接種券は10月10日までに配布するよう郵便局に依頼しているが、届く前に接種を希望する方は、医療機関にある接種券を利用させていただきたい。</p>
<p>まとめ</p>	<p>&lt;連合自治会長&gt;            年々このタウンミーティングもアップしてきている。地元からすれば、要望で終始していたけれど、そうではない、いろんな切り口で対応ができる。子や孫たちの世代のことを思うと不安にも襲われるが、水のまち・西条。素晴らしい地である。みんなが共に笑顔で生きていけるまちを強く望んでいる。</p> <p>&lt;市長&gt;            ひざ詰めの話し合いの機会を持ちながら、皆さんに地域コミュニティ・自治を守っていただいている。やはり、現場に声があると思っているので、職員も一丸となり、皆さんと一緒により良い西条を作っていきたい。引き続き様々なアドバイスをいただきたい。</p>

<当日の様子>

